

第11期 (2024年度)

ジャーナリズム公開講座 (全13回)

第11回 1月23日(木) 18:30~20:30

トランプ政権下の NATOと国際安全保障

米国でのトランプ政権誕生により、米国の同盟政策が大きく変化することへの懸念が高まっている。特に影響を受けるとみられるのがNATO(北大西洋条約機構)だが、影響はさらに拡大する可能性がある。NATOを出発点に、欧州とインド太平洋のリンクなどを含め、国際安全保障への影響を読み解く。

慶應義塾大学総合政策学部准教授 鶴岡 路人



【講師略歴】1975年東京都生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒、同大学大学院法学研究科修士課程、米ジョージタウン大学大学院を経て、英ロンドン大学キングス・カレッジで博士号取得。在ベルギー日本大使館専門調査員、防衛省防衛研究所主任研究官、防衛省防衛政策局国際政策課部員、英王立防衛安全保障研究所(RUSI)訪問研究員などを経て2017年から現職。専門は現代欧州政治、国際安全保障。著書『模索する NATO—米欧同盟の実像』、『はじめての戦争と平和』、『欧州戦争としてのウクライナ侵攻』、『EU 離脱—イギリスとヨーロッパの地殻変動』など。

申込方法(要事前申込/先着)

オンライン配信

定員 200名 Zoom ウェビナー

右の二次元コードまたは下記のホームページからウェビナー登録をしてください。登録完了後に接続方法をご案内します。



●申込期限

1月22日(水)17:00